

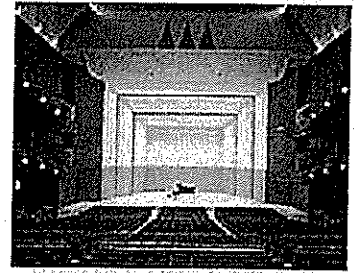
文化の振興



さまざまな主体がそれぞれの力を生かし、協力し合いながら三重の文化活動を支えており、県民の皆さんが多様な文化にふれ親しみ、文化活動への参加をととした幅広い交流が行われるとともに、歴史的・文化的資産等が地域の誇りとして、大切に守り伝えられ、活用されています。

現状と課題

- 県民一人ひとりが自ら文化芸術にふれ、学び、成果を高め合う機会や、お互いに交流し、活動の裾野を広げる機会を充実させる必要があります。
- 県民主体の文化活動を促進するとともに、文化情報の収集・保存と共有を進め、併せて効果的な情報発信を行う必要があります。
- 地域の中で発展してきた個性豊かな文化や守り伝えられてきた文化財が、地域に対する愛着や誇りを育み、地域の絆を強めるなど、人づくりや地域づくりに果たす役割が期待されています。



三重県文化会館大ホール

変革の視点

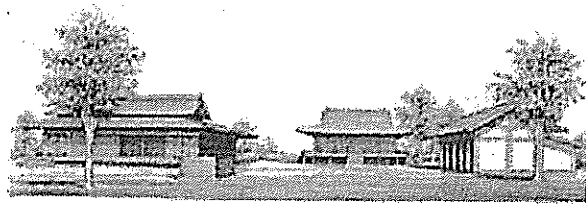
新県立博物館の開館に向け、総合文化センター周辺の各施設が、さまざまな主体と連携し、中核的な拠点(文化交流ゾーン^{※1})を形成することにより、県民の皆さんが、心の豊かさや安らぎを感じ、知的な刺激を受けるよう文化にふれる機会を多く提供します。

取組方向

- 文化の担い手としての県民の皆さんの創造的な活動を支援し、顕彰制度の運用や質の高い文化芸術の発表の場づくりなど、主体的な文化活動を促す環境づくりを進めます。
- 県民の皆さんが文化交流ゾーンの機能を認識し十分に活用できるよう、魅力的な情報発信および環境整備等に取り組みます。
- 県民の皆さんが地域の文化財の価値に気づき、大切に守り伝え、積極的に活用できる環境づくりを進めるとともに、歴史的・文化的資産等を生かした人づくりや地域づくりを促進します。

平成27年度末での到達目標

三重の文化や文化財が効果的に県内外へ情報発信されるとともに、それらを生かした取組が活発になり、県民の皆さんが、主体的に文化活動に参加・参画し、地域の魅力や価値を高めています。



史跡斎宮跡東部整備完成予定図

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
参加した文化活動に対する満足度	60.7% (22年度)	66.0%	三重県文化会館が実施した公演事業および歴史的・文化的資産を生かしたまちづくり事業などにおけるアンケート調査で、公演やイベントの内容について、「とても満足している」と回答した人の割合

主な取組内容
(基本事業)

26101
文化にふれ親しみ、創造する機会の充実

(主担当：環境生活部文化振興課)

県民一人ひとりが多様な文化にふれ親しみ、創造し、文化活動に参加することができるよう、文化活動への助成や顕彰制度の運用、文化芸術の発表の場づくりなど、多様な取組を進めます。

26102
歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用

(主担当：教育委員会社会教育・文化財保護課)

県民の皆さんが歴史的資産等の魅力を知り、地域の誇りとして大切に守り伝えていくため、文化財等の適切な保存・継承を図るとともに、地域での活用を支援します。

県の活動指標			
目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
文化交流ゾーンを構成する施設の利用者数	1,173,221人 (22年度)	1,360,000人	文化交流ゾーンを構成する施設である県立の図書館、博物館、美術館および三重県総合文化センターの利用者数
文化芸術情報アクセス件数	60,210 件/月 (22年度)	100,000 件/月	県が管理運営するインターネットのホームページ「三重の文化」への月平均アクセス数
文化財情報アクセス件数	14,208 件/月 (22年度)	17,000 件/月	県が管理運営するインターネットの文化財に関するホームページへの月平均アクセス数

注)1 文化交流ゾーン：新県立博物館の整備を契機として、新たに魅力あふれる「県民の学び・体験・交流の場」となるよう発展をめざす県立美術館を含めた県総合文化センター周辺地域のこと。

生涯学習の振興



県民の皆さんの多様な学習ニーズに応えることができる学びの場や機会が、さまざまな主体の力を合わせた活動により数多く生み出され、県民の皆さんが楽しく学びながら、自らの知識や経験を生かして積極的に活動しています。

現状と課題

- 県民の皆さんの学習ニーズは多様化・高度化しており、それぞれのライフステージにおける学習ニーズを的確に把握し、そのニーズに応じた学習機会を提供することが求められています。
- 県民一人ひとりのライフスタイルに対応した学習環境の整備や、市町や地域の活動団体等との連携など、県内のどこでも学習できる場や仕組みづくりが必要です。
- 学んだ成果が個人にとどまることなく、人づくりや地域づくりにつながるよう、活動の場の提供や情報提供の充実など、成果を生かすことができる環境づくりが求められています。
- 生涯学習の推進に重要な役割を担う社会教育においては、多様化・高度化した学習ニーズへの適切な対応が求められているほか、社会教育活動の推進にあたり、さまざまな主体との連携を図る必要があります。

変革の視点

生涯学習センターをはじめとする生涯学習施設の機能充実や連携強化等のこれまでの取組に加え、県民の皆さんとの「協創」により魅力的な博物館づくりを進めるとともに、公民館や図書館等の「身近な拠点」や学校、地域との連携を強化することにより、県民の皆さんが県内のどこでも学習できる環境づくりを進めます。

取組方向

- 新県立博物館の整備により三重の自然と歴史・文化について、共に学び、考えることができる場づくりを進めます。
- 市町や学校等さまざまな主体との連携により、アウトリーチ^{※1}や参加体験型学習など、さまざまな学習機会を提供します。
- 学んだ成果を地域で生かそうとする県民の皆さんに対し、学習交流の場や講師登録情報の提供を充実させるなど、新たな成果の活用場や機会を創出する取組を促進します。
- 社会教育関係者の交流の場を設け、情報共有や人材育成を図ることにより、地域における社会教育活動を促進します。


平成27年度末での到達目標

これまで自己の関心やライフスタイルにあった学習機会を得られなかった県民の皆さんが、容易に自己のニーズにあった学習情報を得ることができ、気軽に学びの場や機会を利用しています。

また、これまで学習活動を行ってきた県民の皆さんも、より高度な知識や技術を習得し、学んだ成果を生かす機会を得ています。



新県立博物館完成予定図

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
 県民指標 参加した学習活動に対する満足度	72.0% (22年度)	77.0%	県立の図書館、博物館、美術館、斎宮歴史博物館および生涯学習センターが実施した展覧会、講座・セミナーにおけるアンケート調査で、講座の内容等について、「満足している」と回答した人の割合

主な取組内容
(基本事業)

26201
学びあう場の充実

(主担当：環境生活部文化振興課)

だれでも、いつでも、どこでも、楽しく学び続けることができ、その成果を生かすことができるよう、魅力ある展覧会・講座等の開催や講師登録情報の提供など、学習環境の充実を図ります。

26202
地域と連携した社会教育の推進

(主担当：教育委員会社会教育・文化財保護課)

地域の中核となる社会教育関係者の人材育成を行うことにより、社会教育活動を促進します。また、社会教育施設において、自然体験活動などを実施することにより、健全な青少年の育成を進めます。

県の活動指標			
目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
県立生涯学習施設の利用者数	627,350人 (22年度)	855,000人	県立の図書館、博物館、美術館、斎宮歴史博物館、熊野少年自然の家、鈴鹿青少年センターおよび生涯学習センターの利用者数
「協創」による博物館づくりへの参画者数	231人 (22年度)	550人	新県立博物館の県民参加組織への登録者数
社会教育関係者ネットワーク会議への参加者数	-	210人	社会教育関係者(社会教育委員、関係団体、行政等)が幅広くつながる交流の場として開催するネットワーク会議への参加者数

注)1 アウトリーチ:英語で「手を伸ばすこと」を意味し、生涯学習の観点では、学校や公民館、福祉施設等出張講座や移動展示などを行うこと。